

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	3	政策	1	施策	① 幼児教育の充実	担当課・係	子育て支援室児童係
------	---	----	---	----	-----------	-------	-----------

現行					見直し後				
成果目標					成果目標				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし					※見直し項目なし				
	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)					
幼小連携会議開催回数【単年】	回	0	2	4					
幼児教育研修会開催回数【単年】	回	0	2	2					
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし									
	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)					
幼児教育5領域10の姿の達成度	%	40	60	80					

現行	見直し後	摘要
目標達成のための具体的な方法 ■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業） 1. 保育士の確保と幼児教育に係る人材を育成する。 （主体：町、教委） 大学と連携したり、町外の有資格者の移住を促したりして、保育士の人材を確保するとともに、幼児教育についての研修機会を確保し、人材育成を図る。	目標達成のための具体的な方法 ■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業） 1. 保育士の確保と幼児教育に係る人材を育成する。 （主体：町、教委） 大学と連携したり、町外の有資格者の移住を促したりして、保育士の人材を確保するとともに、幼児教育についての研修機会を確保し、人材育成を図る。	同一内容で後期の重点事業へ登載する。

現行	見直し後	摘要
<p>■10年間で継続して取り組むもの（継続的事業）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各保育施設において、幼児教育の機会を提供する。 （主体：町、教委） 2. 安心安全な保育・幼児教育施設の維持管理に努める。（主体：町） 3. 幼児教育に対する保護者、地域の理解・協力する姿勢の醸成を図る。（主体：町、教委） 	<p>■_____継続して取り組むもの（継続的事業）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各保育施設において、幼児教育の機会を提供する。 （主体：町、教委） 2. 安心安全な保育・幼児教育施設の維持管理に努める。（主体：町） 3. 幼児教育に対する保護者、地域の理解・協力する姿勢の醸成を図る。（主体：町、教委） 	

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	3	政策	1	施策	② 小中学校教育の充実	担当課・係	管理課学校教育係・社会教育課社会教育係・企画課企画防災係
------	---	----	---	----	-------------	-------	------------------------------

現行					見直し後																											
成果目標 <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし</th> <th>単位</th> <th>現状 (令和元年度)</th> <th>中間目標 (5年後：R7年度)</th> <th>最終目標 (10年後：R12年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小・中学校教職員の週の平均勤務時間（土日を含む）</td> <td>時間</td> <td>44</td> <td>43</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし</th> <th>単位</th> <th>現状 (令和元年度)</th> <th>中間目標 (5年後：R7年度)</th> <th>最終目標 (10年後：R12年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国学力学習状況調査における全国平均比（小学校 算数・国語の合計）</td> <td>%</td> <td>96</td> <td>98</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>地元から広尾高校への進学率</td> <td>%</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>					活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	小・中学校教職員の週の平均勤務時間（土日を含む）	時間	44	43	42	成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	全国学力学習状況調査における全国平均比（小学校 算数・国語の合計）	%	96	98	100	地元から広尾高校への進学率	%	65	70	75	成果目標 ※見直し項目なし		
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)																												
小・中学校教職員の週の平均勤務時間（土日を含む）	時間	44	43	42																												
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)																												
全国学力学習状況調査における全国平均比（小学校 算数・国語の合計）	%	96	98	100																												
地元から広尾高校への進学率	%	65	70	75																												
現行				見直し後			摘要																									
目標達成のための具体的な方法 ■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業） 1. コミュニティ・スクールの一層の推進と定着を図る。 （主体：教委） 平成30年度に小中学校に導入したコミュニティ・スクールが地域に根差した活動となるよう、町民の力を結集し、より一層推進する。				目標達成のための具体的な方法 ■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業） 1. コミュニティ・スクールの一層の推進と定着を図る。 （主体：教委） 平成30年度に小中学校に導入したコミュニティ・スクールが地域に根差した活動となるよう、町民の力を結集し、より一層推進する。			同一内容で後期の重点事業へ登載する。																									

現行	見直し後	摘要
<p>2. 地元の産業や文化に触れる体験学習の充実を図る。(主体:教委) 漁業や農林業、商工業、歴史・文化など、地元住民と直接関わりあいながら、体験を通じて地元への理解を深める学習を推進する。</p> <p><関連する重点プロジェクト> ⑤自分大好きプロジェクト</p> <p>■<u>10年間で継続して取り組むもの</u>(継続的事業)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教諭の授業力の改善・向上のための取組を推進する。(主体:教委) 2. 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を開催し、地域と一体になった特色ある学校づくりを推進する。(主体:学校運営協議会、教委) 3. 中高一貫教育を推進する。(主体:中高一貫教育連絡協議会) 4. 学校施設やスクールバス、教材、設備機器などの維持管理や更新を適切に行う。(主体:教委) 5. 学校給食センター施設の維持管理や調理機器等の更新を適切に行い、給食の安全性を確保する。(主体:教委) 	<p>2. 地元の産業や文化に触れる体験学習の充実を図る。(主体:教委) 漁業や農林業、商工業、歴史・文化など、地元住民と直接関わりあいながら、体験を通じて地元への理解を深める学習を推進する。</p> <p>3. <u>小・中学生の保護者負担の軽減を図る。(主体:教委)</u> <u>給食費の完全無償化、修学旅行費の助成により、保護者の経済的負担軽減を図る。</u></p> <p><関連する重点プロジェクト> ⑤自分大好きプロジェクト</p> <p>■ _____ 継続して取り組むもの(継続的事業)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教諭の授業力の改善・向上のための取組を推進する。(主体:教委) 2. 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を開催し、地域と一体になった特色ある学校づくりを推進する。(主体:学校運営協議会、教委) 3. 中高一貫教育を推進する。(主体:中高一貫教育連絡協議会) 4. 学校施設やスクールバス、教材、設備機器などの維持管理や更新を適切に行う。(主体:教委) 5. 学校給食センター施設の維持管理や調理機器等の更新を適切に行い、給食の安全性を確保する。(主体:教委) 	<p>同一内容で後期の重点事業へ掲載する。</p> <p>現在の事業実施状況を踏まえ、新規に追加するもの</p>

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	3	政策	1	施策	③ 高校教育への支援と交流	担当課・係	管理課学校教育係・社会教育課社会教育係・企画課企画防災係
------	---	----	---	----	---------------	-------	------------------------------

現行					見直し後				
成果目標					成果目標				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
広尾高校を含めたコミュニティ・スクール連絡協議会(仮称)の設置数【累計】	組織	二	1	1	(削除)				
広尾高校町民応援体制の整備	—	—	整備済	整備済	広尾高校町民応援体制の整備	—	—	整備済	整備済
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
地元から広尾高校への進学率(再掲)	%	65	70	75	地元から広尾高校への進学率(再掲)	%	65	70	75
					<p>(見直し理由)</p> <p>(広尾高校を含めたコミュニティ・スクール連絡協議会(仮称)の設置数)</p> <p>・小・中・高校において、それぞれ学校運営協議会が設置されており、CSコーディネーターを通して連携済みであることから、指標を削除する。</p>				

現行	見直し後	摘要
<p>目標達成のための具体的な方法</p> <p>■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業）</p> <p>1. 広尾高校の魅力を高める取組を推進する。</p> <p>（主体：町、教委、広尾高校存続対策協議会）</p> <p><u>中高一貫教育を行っている広尾高校の学習環境面の優位性を町ぐるみでアピールし、町内外の中学生やその保護者の理解を深める。</u></p> <p>2. 部活動の指導者（教諭、外部指導者）を招へいする。</p> <p>（主体：町、教委）</p> <p>部活動を高いレベルで指導できる人材を発掘し、教諭や外部指導者として招へいする。</p> <p>3. 地元企業や産業団体等と広尾高校とのパイプをつくる。</p> <p>（主体：町、教委、漁協、農協、森林組合、商工会）</p> <p>広尾高校において設置されたコミュニティ・スクールの制度を生かし、地元のあらゆる仕事について、高校生の理解を深めるための取組を官民連携により一体的に行うとともに、北海道家庭教育サポート企業制度と広尾っ子応援団タイアップ事業により、企業の事業主に広尾っ子応援団の登録を行っていただき、地元企業などと広尾高校のパイプをつくる。</p> <p>4. 広尾高校町民応援体制をつくる。</p> <p>（主体：町、教委、広尾高校存続対策協議会）</p> <p>広尾高校において設置されたコミュニティ・スクールによる「広尾っ子応援団制度」を活用し広尾高校への支援を行い、広尾高校OB・OGの力も借りながら、あんどん行列など行事への協力や、部活動への支援など町ぐるみで応援する体制を作る。</p>	<p>目標達成のための具体的な方法</p> <p>■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業）</p> <p>1. 広尾高校の魅力を高める取組を推進する。</p> <p>（主体：町、教委、広尾高校存続対策協議会、<u>広尾高校</u>）</p> <p><u>地域ぐるみで広尾高校を応援する「広高サポーター制度」の構築やコーディネーター配置による地域学の充実と全国募集の開始、特色ある授業の導入など広尾高校の魅力を高めることで、入学者の増加を図る。</u></p> <p>（短期事業1～4を合わせた内容に整理）</p> <p>（短期事業1～4を合わせた内容に整理）</p> <p>（短期事業1～4を合わせた内容に整理）</p>	<p>取組の進捗状況等を踏まえ、短期事業1～4を合わせた取組内容に修正</p>

現行	見直し後	摘要
<p>5. <u>地元の産業や文化に触れる体験学習の充実を図る。</u></p> <p>(主体：広尾高校)</p> <p><u>漁業や農林業、商工業、歴史・文化など、地元住民と直接関わりあいながら、体験を通じて地元への理解を深める学習を推進する。</u></p> <p>■<u>10年間で継続して取り組むもの（継続的事業）</u></p> <p>1. 連携型中高一貫教育を推進する。 (主体：中高一貫教育連絡協議会)</p> <p>2. 広尾高等学校への支援（サポート11）を継続する。 (主体：教委、中高一貫教育連絡協議会、広尾高校存続対策協議会)</p> <p>3. 広尾高等学校の存続活動を展開する。 (主体：広尾高校存続対策協議会)</p>	<p>2. <u>広尾地域学の充実を図る。</u></p> <p>(主体：町、教委、広尾高校)</p> <p><u>地元の産業や歴史、文化などを地元住民と交流して実際に体験しながら学ぶ「広尾地域学」のさらなる充実を図り、広尾高校の魅力向上と併せ、地域を支える人材を育成する。</u></p> <p>3. <u>高校生対象の無料の公設民営塾を開設する。（主体：町）</u></p> <p><u>個々の学習習慣や基礎学力の定着を図り、学力格差の拡大を防ぐとともに、広尾高校における生徒の希望進路実現を推進する。</u></p> <p><関連する重点プロジェクト></p> <p>⑨<u>広尾高校魅力向上プロジェクト</u></p> <p>■<u>_____継続して取り組むもの（継続的事業）</u></p> <p>1. 連携型中高一貫教育を推進する。 (主体：中高一貫教育連絡協議会)</p> <p>2. 広尾高等学校への支援（<u>広尾高校サポートプラン</u>）を継続する。 (主体：教委、中高一貫教育連絡協議会、広尾高校存続対策協議会)</p> <p>3. 広尾高等学校の存続活動を展開する。 (主体：広尾高校存続対策協議会)</p>	<p>取組の進捗状況等を踏まえ、事業名・取組内容を修正</p> <p>取組の進捗状況等を踏まえ、新規追加</p> <p>新たな重点プロジェクトを追加したことによる記載の追加</p> <p>文言の修正</p>

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	3	政策	2	施策	① 生涯学習と社会教育の推進	担当課・係	社会教育課社会教育係
------	---	----	---	----	----------------	-------	------------

現行					見直し後				
成果目標					成果目標				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (平成30年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (平成30年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
プロモーションビデオを制作した生涯学習サークルの数【累計】	団体	—	5	10	プロモーションビデオを制作した生涯学習サークルの数【累計】	団体	—	5	10
生涯学習活動場所予約システムの導入	—	—	導入済	導入済	(削除)				
総合型地域スポーツクラブの設立数【累計】	組織	—	設立準備	1	総合型地域スポーツクラブの設立数【累計】	組織	—	設立準備	1
趣味・教養学習講座「マイプラン」の開催回数【単年】	回	6	10	10	趣味・教養学習講座「マイプラン」の開催回数【単年】	回	6	10	10
大人の文化講座開催回数【単年】	回	2	5	5	大人の文化講座開催回数【単年】	回	2	5	5
出前講座開催回数【単年】	回	416	450	450	出前講座開催回数【単年】	回	416	450	450
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (平成30年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (平成30年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
趣味・教養学習講座「マイプラン」への延べ参加者数【単年】	人	49	80	80	趣味・教養学習講座「マイプラン」への延べ参加者数【単年】	人	49	80	80
大人の文化講座への延べ参加者数【単年】	人	19	50	50	大人の文化講座への延べ参加者数【単年】	人	19	50	50
出前講座への延べ参加者数【単年】	人	6,783	7,000	7,000	出前講座への延べ参加者数【単年】	人	6,783	7,000	7,000

現行					見直し後					
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを 把握するためのものさし	単位	現状 (平成30年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを 把握するためのものさし	単位	現状 (平成30年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	
図書の本館貸出し冊数（本館図書、移動図書、移動文庫、団体貸出）【単年】	冊	30,951	31,000	31,000	図書の本館貸出し冊数（本館図書、移動図書、移動文庫、団体貸出）【単年】	冊	30,951	31,000	31,000	
全国体力・運動能力、運動習慣等調査（5年生）における全国平均比（8種目の平均）【単年】	%	(R1) 96.3	100	100	全国体力・運動能力、運動習慣等調査（5年生）における全国平均比（8種目の平均）【単年】	%	(R1) 96.3	100	100	
					（見直し理由） （生涯学習活動場所予約システムの導入） ・短期的事業3「生涯学習場所の予約システム導入」を項目併合で削除することに伴い、指標も削除する。					
現行					見直し後					摘要
目標達成のための具体的な方法 ■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業） 1. サークル紹介用プロモーションビデオを製作する。（主体：教委） 図書館サークルなどの活動内容を紹介し、新会員を募集するためのプロモーションビデオを制作し、あらゆる媒体を活用し、PRを図る。 2. 未利用施設を有効活用して活動拠点を確保する。（主体：教委） 今まで使用頻度の低かった公共施設の部屋を調査し、利用可能な部屋を生涯学習活動の拠点として有効利用する。また、学校開放事業については、体育館だけではなく教室も開放し、「土曜学習」や「夜間塾」などの利用を検討する。					目標達成のための具体的な方法 ■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業） （継続的事業へ移行） （継続的事業へ移行）					※事業掲載順を修正

現行	見直し後	摘要
<p>3. 生涯学習場所の予約システムを導入する。(主体：教委)</p> <p>町内各所に分散している生涯学習の活動場所について、空き状況を確認するシステムを導入するとともに、将来的に予約可能なシステムへ機能拡充が可能か検討する。</p> <p>4. 総合型地域スポーツクラブを設立する。(主体：教委)</p> <p>地域の指導者を集め、幼少期から色々な種目のスポーツに触れたり、子ども用の基礎トレーニング方法を学んだりするための「総合型地域スポーツクラブ」を設立する。</p> <p><関連する重点プロジェクト></p> <p>⑤自分大好きプロジェクト</p> <p>■<u>10年間で継続して取り組むもの(継続的事業)</u></p> <p>1. 広尾っ子応援団本部事業を推進し、学校教育と社会教育の連携強化を図る。(主体：教委)</p> <p>2. <u>すべての町民に幅広い学習機会を提供する。(主体：教委)</u></p>	<p>(項目を併合)</p> <p>1. <u>すべての町民に幅広い学習機会を提供する。(主体：教委)</u></p> <p><u>すべての町民が自らの可能性を広げ、人生を豊かにするための学びの機会を得られるよう、町民ニーズを考慮しながら幅広い学習機会を提供する。</u></p> <p>3. 総合型地域スポーツクラブを設立する。(主体：教委)</p> <p>地域の指導者を集め、幼少期から色々な種目のスポーツに触れたり、子ども用の基礎トレーニング方法を学んだりするための「総合型地域スポーツクラブ」を設立する。</p> <p>2. <u>部活動の地域展開を推進する。(主体：教委、地域)</u></p> <p><u>地域のスポーツ団体・文化団体等と連携し、地域資源等を活用しながら段階的に部活動の地域展開を進める。</u></p> <p><関連する重点プロジェクト></p> <p>⑤自分大好きプロジェクト</p> <p>■<u>_____継続して取り組むもの(継続的事業)</u></p> <p>2. 広尾っ子応援団本部事業を推進し、学校教育と社会教育の連携強化を図る。(主体：教委)</p> <p>(重点事業へ移行)</p>	<p>4-2-⑤に新規追加した「行政事務におけるDXの推進」の中に取組が含まれるため、本項目は削除する。</p> <p>継続的事業から移行</p> <p>同一内容で後期の重点事業へ登載する。</p> <p>現在の状況等を踏まえ、新規追加</p> <p>※事業掲載順を修正</p>

現行	見直し後	摘要
<p>3. 児童福祉会館（図書館）の機能の充実を図る。<u>（図書館電算化、図書館バス更新など）</u>（主体：教委）</p> <p>4. 体育施設の適切な維持管理を図る。（主体：教委）</p> <p>5. <u>キャンプ場（野外活動施設）の計画期間中の再整備について方向性を定める。</u>（主体：教委）</p>	<p>4. 児童福祉会館（図書館）の機能の充実を図る。（主体：教委）</p> <p>3. 体育施設の適切な維持管理を図る。（主体：教委） <u>（項目を削除）</u></p> <p>1. <u>サークル紹介用プロモーションビデオを製作する。</u>（主体：教委）</p> <p>5. <u>未利用施設を有効活用して活動拠点を確保する。</u>（主体：教委）</p>	<p>事業実施済のため、文言を削除</p> <p>1-2-②に関連内容を記載</p> <p>短期的事業から移行</p> <p>短期的事業から移行</p>

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	3	政策	2	施策	② 家庭教育の充実	担当課・係	社会教育課社会教育係
------	---	----	---	----	-----------	-------	------------

現行					見直し後				
成果目標					成果目標 ※見直し項目なし				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)					
高齢者と子育て世代の交流の場の数【累計】	箇所	—	1	2					
家庭教育学級の開催回数【単年】	回	10	12	12					
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)					
家庭教育学級への延べ参加者数【単年】	人	170	170	170					
全国学力・学習状況調査（6年生）における朝ごはんを毎日食べる子どもの割合	%	80	85	90					
全国学力・学習状況調査(6年生)における家庭学習に取り組む1日の平均時間	時間	1.27	1.5	1.5					

現行	見直し後	摘要
<p>目標達成のための具体的な方法</p> <p>■前期5年間で重点的に取り組むもの（<u>短期的事業</u>）</p> <p>1. 「広尾っ子応援団」を活用し、家庭の教育力向上を図る。</p> <p>（主体：教委、地域学校協働本部）</p> <p>「広尾っ子応援団」の活動を通じて、子どもへの接し方や親としてのあり方などを学ぶことにより、家庭の教育力を向上させる。</p>	<p>目標達成のための具体的な方法</p> <p>■後期5年間で重点的に取り組むもの（<u>重点事業</u>）</p> <p>（継続的事業へ移行）</p>	

現行	見直し後	摘要
<p>2. 高齢者と子育て世代の交流の場を創出する。(主体:教委)</p> <p>老人クラブなど高齢者の団体と子ども・保護者が定期的にふれあう機会をつくり、高齢者が保護者に子育て経験に基づくしつけの仕方を話したり、保護者が高齢者にスマートフォンの操作方法を教えたりするなど、お互いに教え合う相互交流の場を創出する。</p> <p>■10年間で継続して取り組むもの(継続的事業)</p> <p>1. 家庭教育学級を開催する。(主体:教委)</p> <p>2. 早寝・早起き・朝ごはん運動(子育てメソッド)を展開する。(主体:教委)</p> <p>3. 子どもたちのインターネットや電子メディアの利用に関し、道教委や町内小中学校と連携し、望ましい生活習慣の形成に向けて対策に取り組む。(主体:教委)</p>	<p>(継続的事業へ移行)</p> <p>1. <u>学校や家庭以外の子どもの居場所を整備する。(主体:教委)</u> <u>多様な背景を持つ子どもたちの心の支えとなり、健全な成長と孤立防止のため学校や家庭以外の第3の居場所を整備する。</u></p> <p>■ _____ 継続して取り組むもの(継続的事業)</p> <p>3. 家庭教育学級を開催する。(主体:教委)</p> <p>4. 早寝・早起き・朝ごはん運動(子育てメソッド)を展開する。(主体:教委)</p> <p>5. 子どもたちのインターネットや電子メディアの利用に関し、道教委や町内小中学校と連携し、望ましい生活習慣の形成に向けて対策に取り組む。(主体:教委)</p> <p>1. <u>「広尾っ子応援団」を活用し、家庭の教育力向上を図る。</u> <u>(主体:教委、地域学校協働本部)</u></p> <p>2. <u>高齢者と子育て世代の交流の場を創出する。(主体:教委)</u></p>	<p>現在の状況等を踏まえ、新規追加</p> <p>※事業掲載順を修正</p> <p>短期的事業から移行</p> <p>短期的事業から移行</p>

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	3	政策	2	施策	③ 芸術文化の振興	担当課・係	社会教育課社会教育係
------	---	----	---	----	-----------	-------	------------

現行					見直し後					
成果目標					成果目標					
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし					※見直し項目なし					
	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)						
プロモーションビデオを製作した文化サークルの数【累計】	団体	—	10	15						
新しい文化活動のアンケート調査の実施	—	—	毎年実施	毎年実施						
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし										
	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)						
芸術祭入場者数【単年】	人	629	630	630						
文化・社会教育サークル数	団体	32	32	32						
文化協会加盟団体会員数	人	270	270	270						
現行					見直し後					摘要
目標達成のための具体的な方法 ■前期5年間で重点的に取り組むもの（ <u>短期的事業</u> ） 1. 多様な芸術鑑賞機会を確保する。（主体：教委） 従来の子童福祉会館に加え、小中学校や高校の体育館や廃校舎を芸術鑑賞の会場として利用したり、大樹町生涯学習センターを広域利用（送迎バス運行）したりなど、様々な会場を活用し、多様な芸術鑑賞の機会を町民に提供する。					目標達成のための具体的な方法 ■後期5年間で重点的に取り組むもの（ <u>重点事業</u> ） 1. 多様な芸術鑑賞機会を提供する。（主体：教委） 従来の子童福祉会館に加え、小中学校や高校の体育館等を芸術鑑賞の会場として利用したり、 <u>近隣町村と連携するなど</u> 、多様な芸術鑑賞の機会を提供する。					現在の状況等を踏まえて取組内容を修正

現行	見直し後	摘要
<p>2. 文化団体紹介用プロモーションビデオを製作する。(主体：教委) 文化団体の活動内容を紹介し、新会員を募集するためのプロモーションビデオを制作し、あらゆる媒体を活用し、PRを図る。</p> <p>3. 新しい文化活動を創造する。(主体：教委) 若い人がやってみたい活動をリサーチし、外部の人材を活用しながら、町内に指導者がいなくても新たに取り組めるような仕掛けをつくとともに、広尾高校においても顧問を置かなくても活動できる新しい文化活動が根付くよう支援する。</p> <p>■10年間で継続して取り組むもの(継続的事業)</p> <p>1. 児童福祉会館の機能を充実させる。(ステージ照明・音響設備など)(主体：教委)</p> <p>2. 新しい文化活動をリサーチするためのアンケート調査を行う。(主体：教委、文化団体)</p> <p>3. 新規講座の開設に向けて取り組む。(主体：教委)</p> <p>4. 親子で文化活動に触れあえる機会を提供する。(主体：教委、文化団体)</p>	<p>(継続的事業へ移行)</p> <p>2. 新しい文化活動を創造する。(主体：教委) 若い人がやってみたい活動をリサーチし、外部の人材を活用しながら、町内に指導者がいなくても新たに取り組めるような仕掛けをつくとともに、広尾高校においても顧問を置かなくても活動できる新しい文化活動が根付くよう支援する。</p> <p>■ _____ 継続して取り組むもの(継続的事業)</p> <p>5. 児童福祉会館の機能を充実させる。(ステージ照明・音響設備など)(主体：教委)</p> <p>2. 新しい文化活動をリサーチするため、<u>イベント来場者等にアンケート調査を行う。</u>(主体：教委、文化団体)</p> <p>4. 新規講座の開設に向けて取り組む。(主体：教委)</p> <p>3. 親子で文化活動に触れあえる機会を提供する。(主体：教委、文化団体)</p> <p>1. <u>文化団体紹介用プロモーションビデオを製作する。</u>(主体：教委)</p>	<p>同一内容で後期の重点事業へ登載する。</p> <p>※事業掲載順を修正</p> <p>文言の追加</p> <p>短期的事業から移行</p>

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	3	政策	2	施策	④ 文化財の保存、継承	担当課・係	社会教育課社会教育係
------	---	----	---	----	-------------	-------	------------

現行					見直し後				
成果目標					成果目標				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
広尾町検定の導入	—	—	導入済	導入済	(削除)				
広尾の歴史「語り部」保存事業の実施回数【単年】	回	—	1	1	広尾の歴史「語り部」保存事業の実施回数【単年】	回	—	1	1
出前博物館の開催回数【単年】	回	—	1	1	出前博物館の開催回数【単年】	回	—	1	1
博物館応援ボランティアの組織数【累計】	組織	—	1	1	博物館応援ボランティアの組織数【累計】	組織	—	1	1
広尾の文化財の情報発信回数【単年】	回	—	6	6	広尾の文化財の情報発信回数【単年】	回	—	6	6
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
海洋博物館・伝習館年間入場者数【単年】	人	(H30) 696	1,000	2,000	海洋博物館・伝習館年間入場者数【単年】	人	(H30) 696	1,000	2,000
広尾町検定の受験者数【累計】	人	—	50	100	(削除)				
博物館応援ボランティアの会員数	人	—	3	5	博物館応援ボランティアの会員数	人	—	3	5
					(見直し理由) (広尾町検定の導入) (広尾町検定の受験者数) ・短期事業1「「広尾町検定」を導入する」を削除することに伴い、関連する指標も削除する。				

現行	見直し後	摘要
<p>目標達成のための具体的な方法</p> <p>■前期5年間で重点的に取り組むもの（<u>短期的事業</u>）</p> <p>1. 「<u>広尾町検定</u>」を導入する。（主体：教委）</p> <p><u>広尾町の歴史や文化、産業などの問題を作り、「広尾町検定」として受検者を募り、広尾町への理解を深めてもらう。小学生から大人まで幅広く受検してもらえよう、問題作成を工夫する。また、検定を受けた町民の組織化を図る。</u></p> <p>2. 広尾の歴史「語り部」保存事業を行う。（主体：教委）</p> <p><u>広尾の歴史を知る高齢者の話を直接聞く場を設けたり、話す様子をビデオ撮影し、保存・活用したり、次世代へ語り継ぐ取組を行う。</u></p> <p>3. 出前博物館を開催する。（主体：教委）</p> <p><u>博物館や伝習館の展示品や眠っている収蔵品などを学校の空き教室や集会所などに移動させて、期間限定の「出前博物館」を開催し、まちの歴史・文化に対する町民の理解・関心を高める。</u></p> <p>4. 博物館応援ボランティアを育成する。（主体：教委）</p> <p><u>「広尾町検定」の受検者で組織する団体を「博物館応援ボランティア」に位置付け、町外から来る人や町内の子ども達を対象に館内における展示物の説明活動や、町内に点在する文化財等のガイド役など幅広く活躍してもらおう。また、これら人材を育成するため、外部の専門家を招へいし、短期講座を開講する。</u></p>	<p>目標達成のための具体的な方法</p> <p>■後期5年間で重点的に取り組むもの（<u>重点事業</u>）</p> <p><u>（削除）</u></p> <p>4. 広尾の歴史「語り部」保存事業を行う。（主体：教委）</p> <p><u>広尾の歴史を知る方の協力を得て、録画・録音等により、次世代へ語り継ぐ取組を行う。</u></p> <p><u>（継続的事業へ移行）</u></p> <p>3. 博物館応援ボランティアを育成する。（主体：教委）</p> <p><u>町民有志から博物館や文化財等のガイド役を募り、案内活動を担っていただくなど、町民による博物館づくりに取り組む。</u></p> <p>2. <u>海洋博物館の登録博物館認定を推進する。（主体：教委）</u></p> <p><u>地域の文化と歴史を守り伝えるため、学芸員を配置し、登録博物館への認定を目指すとともに、資料の充実と公開に努める。</u></p>	<p>※事業掲載順を修正</p> <p>現在の状況等を踏まえて実施が困難と判断し、削除</p> <p>取組内容の修正</p> <p>関連する短期的事業1の削除及び現在の状況等を踏まえて取組内容を修正</p> <p>現在の状況等を踏まえて、新規追加</p>

現行	見直し後	摘要
<p>■<u>10年間で継続して取り組むもの（継続的事業）</u></p> <p><u>1.</u> クイズラリーなど博物館イベントの充実を図る。（主体：教委）</p> <p><u>2.</u> あらゆる媒体を活用し、広尾の文化財の情報発信を行う。 （年6回程度）（主体：教委）</p>	<p><u>1.</u> 「<u>続 広尾町史（仮称）</u>」を発行する。（主体：町） <u>広尾町の産業、福祉、教育及び文化等の歴史を将来にわたって引き継ぐため、町史編さん委員会を設置し、有識者及び出版社の協力を得て、「続 広尾町史（仮称）」を発行する。</u></p> <p>■ _____ 継続して取り組むもの（継続的事業）</p> <p><u>2.</u> クイズラリーなど博物館イベントの充実を図る。（主体：教委）</p> <p><u>3.</u> あらゆる媒体を活用し、広尾の文化財の情報発信を行う。 （年6回程度）（主体：教委）</p> <p><u>1.</u> <u>出前博物館を開催する。（主体：教委）</u></p>	<p>新たに事業を開始したことによる新規追加</p> <p>※事業掲載順を修正</p> <p>短期的事業から移行</p>

